

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-12 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2016年Decemberの過去ログをしています。

December20日Tuesday: 手賀沼のお隣り、印旛沼の冬鳥紹介
(2016.12.18)

カテゴリ: General

投稿者: saito



片足を小刻みに震わせて（パドリング）、餌をさがすタゲリ。



検索

検索

ナビゲーション

前の月

次の月

今日の投稿

過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ

General

お知らせ

観察会

観察会下見

昆虫

植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp

田んぼの上を低く飛ぶハイイロチュウヒ。



水路で見られたホオジロガモ。



繁殖羽の残るカンムリカイツブリ。



沼の上を飛ぶクロハラアジサシ。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-10 >

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

過去ログ

あなたは現在、2016年Octoberの過去ログをしています。

October 9日Sunday: 手賀沼のクロハラアジサシ

カテゴリ: **General** 投稿者: **saito**

10月8日のでがたん（毎月第2土曜日10時開始の手賀沼定例探鳥会）では、目の前を飛び去ったアジサシの仲間の種類を確認することができませんでした。翌日9日、改めて確認してみると、クロハラアジサシが5羽、ヨシ原沿いに餌の小魚を求めて探索飛行していました。接近するのを待ち観察すると、写真のように、背面に褐色の羽毛が残る幼鳥が3羽、腹面に繁殖期の黒い羽毛が残る成鳥2羽（一番下の写真では腹面は写ってませんが・・・）が観察できました。成鳥の風切羽には、換羽の様子が見られます。



検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp





Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-09 >

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

過去ログ

あなたは現在、2016年Septemberの過去ログをしています。

September17日Saturday: ヤマガラはエゴノキの果実が大好き！ (20160917)

カテゴリ: General

投稿者: saito



9月に入ってから、鳥の博物館裏からヤマガラのツイーツイーという声がよく聞かれるようになりました。建物のわきに植栽したエゴノキ目当てにやってきました。



検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp

一個ずつ果皮ごと果実を近くの枝に運び、両足でしっかり押さえて中から種子を取り出し、林の中に消えていきました。どこかで、固い種皮を割っているのでしょう。見ていると、この時は5分に1回くらいの頻度でエゴノキの果実を運んでいました。大忙しです。



とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-06 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30

過去ログ

あなたは現在、2016年Juneの過去ログをしています。

June16日Thursday: カイツブリ子育て中

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

6月15日に手賀沼の水鳥のカウント調査をしてきました。沼岸ではオオヨシキリやホオジロがあちこちでさえずり、ヨシやヒメガマの中からカイツブリやオオバンの声が聞こえてきます。今がまさに手賀沼の鳥たちの子育ての季節です。



カイツブリがヒメガマの中に浮き巣を作っているのを見つけました。カイツブリの巣はカラス類などに捕食されてしまうことが多いので、上空から見えにくいヒメガマの中はなかなかの優良物件でしょうか？

検索

ナビゲーション

[前の月](#)[次の月](#)[今日の投稿](#)[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)[General](#)[お知らせ](#)[観察会](#)[観察会下見](#)[昆虫](#)[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)google.co.jp



別の場所で、ヒナが2羽でいるところを見つけました。親鳥は少し離れたところにいたので、ヒナは「ピッピッピ...」と鳴いて呼んでいるようでした。

June 2日Thursday: 下沼にアジサシ登場

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**

昨日、6月1日に企画展の取材のため手賀沼を訪れると、遠くにひらひらと飛ぶ白い水鳥の姿を肉眼で見つけました。アジサシです。



手賀沼では春と秋の渡りの時期に少数が見られますが、この日は合計10羽が沼に飛び込んで採食したり、杭に止まって休んだりしていました。群れの中にクロハラアジサシも1羽見つけました（写真中央の一番高い杭に止まっている個体）。



水田ではサシバの雄がカエルを狙っていました。繁殖期に入り、巣に餌を運んでいるのでしょう。

June 1日Wednesday: ヘビの季節

カテゴリ: General

投稿者: odaya

先日、5月15日のあびこ自然観察隊で、シマヘビを捕獲して観察しました。シマヘビは無毒ですが、かまれると痛いので注意して捕まえます。

縞模様の弱い個体はアオダイショウによく似ていますが、目の虹彩が赤いことがシマヘビの特徴です。シマヘビは、この時期には水田でカエルの仲間を食べるため、あぜや農道でよく見ることができます。



ヘビのしっぽはどこからでしょうか？

ひっくり返して腹のうろこを見てみましょう。頭から尾に向かって見ていくと、2列だったものがある1点から1列に変わります。ここが総排泄孔（そうはいせつこう：矢印）で、ここから先がしっぽです。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-05 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

過去ログ

あなたは現在、2016年Mayの過去ログをしています。

May31日Tuesday: 巣箱のフクロウ、2羽目のヒナも巣立つ

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

昨日5月30日に、2羽目のヒナも巣立ちました。29日は夜から雨が降り、フクロウは巣立ちませんでした。昨日の夕方18:45ごろに巣立ちました。



5月30日18時45分17秒 巣箱の入口で脚をたたんで力を入れて...

検索

検索

ナビゲーション

- [前の月](#)
- [次の月](#)
- [今日の投稿](#)
- [過去ログ](#)

カテゴリ

- [全てのカテゴリ](#)
- [General](#)
- [お知らせ](#)
- [観察会](#)
- [観察会下見](#)
- [昆虫](#)
- [植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館
google.co.jp



5月30日18時45分18秒 ジャンプして巣立ちました。

これで、今年の2羽のヒナ両方とも巣立つことができました。見守ってくださったみなさま、ありがとうございました。

May28日Saturday: 【速報】1羽目のフクロウのひな巣立ち

カテゴリ: General 投稿者: odaya

今日18時56分4秒ごろ、1羽目のヒナが巣立ちました！



28日18時56分4秒 巣箱の縁で羽ばたいて、、、



28日18時56分5秒 巣立ちました！



2羽目のヒナはまだ巣箱に残っています(28日17時49分現在)。

May28日Saturday: フクロウのヒナ、巣立ち間近です！

カテゴリ: General 投稿者: muramatsu

4月末に孵化したヒナたちは、あっという間に大きくなり、1羽目のヒナは、23日から巣箱の入口にとまって外を眺めるようになりました。



今日の昼間には2羽目も一緒にとまっているのが初めて観察されました。巣立ちが近くなると、こうやって巣箱の入口にとまって、外を眺めるようになります。



博物館の職員の間でも、いつ巣立つのか話題になっています。あと2、3日後という予想が多いですが、どうなるでしょう。ヒナの孵化から巣立ちまでの期間は30～35日です。皆さんも博物館ホームページの巣箱カメラの映像でチェックしてみてください！

May20日Friday: スズガモとカンムリカイツブリ

カテゴリ: General

投稿者: odaya

昨日、手賀沼の水面水鳥調査を行いました。オオバンやカイツブリなどが繁殖行動を行っている様子があちこちで見られました。

この時期には少ない水鳥が2種見られたのでご紹介します。



カンムリカイツブリは、手賀沼では冬鳥で11-3月に多く見られますが、5月に残っていることはまれです。今回は3個体が観察されましたが、いずれも単独行動で、繁殖はしていないようです。近年関東地方でも一部で少数が繁殖するようになったので、手賀沼でも近い将来繁殖が確認されるかも知れません。



スズガモは、手賀沼では渡りの時期に少数が見られる鳥ですが、5月に見られるのは珍しい例です。

May17日Tuesday: 我孫子のフクロウの餌動物

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [muramatsu](#)

フクロウのヒナたちは順調に成長しています！
孵化後15日が過ぎ、巣箱に留まって世話していたメスも

ほとんどの時間を外で過ごすようになり、食べ盛りのヒナにオスとメスで餌を運んでいます。



・5月16日のヒナの様子



・ヒナの様子を見にきたメス

親鳥は夕方から明け方にかけて、巣箱の様子を確認したり、餌を運ぶことが多い。

フクロウの主な餌はハタネズミやアカネズミのような小型の哺乳類ですが、森林の被度が低くなると鳥や爬虫類など他の餌動物の割合が増えるといわれています。

過去に我孫子のフクロウがヒナに与えた餌動物を調べてみたところ、哺乳類は全体の約2割で、それ以外は鳥類、爬虫類、節足動物などが占めていました。巣箱は小さな林にあり、周りは住宅地に囲まれているため、スズメ、ツバメ、ハト、ヤモリ、ムカデなど人に身近な生き物が多く運ばれています。



・ニホンヤモリ

餌は環境によって変化するため、フクロウが何を食べているのかが分ると、その周辺の自然の特徴を知る手がかりになります。入り口カメラのアーカイブをみると、親フクロウが餌を運ぶシーンがみられることがあります。ぜひチェックしてみてください！

May 1日Sunday: 2羽目のフクロウのヒナの姿が確認できました

カテゴリ: General 投稿者: someya

フクロウの子育て速報です。

2羽目のヒナがかえり、5月1日の2時14分に姿を確認しました。

2卵目の卵を確認したのが4月1日の3時26分でしたので、1羽目と同様、約1ヶ月で孵化しました。

これで今シーズン全ての卵がかえりました。ヒナが大きくなっていく様子を見守りましょう。



中央に2羽のヒナが確認できます



1羽のヒナが顔を上げています

前日の18時50分頃まではヒナは1羽のみで、まだ卵の状態であることが確認できます。



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-04 >

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

過去ログ

あなたは現在、2016年Aprilの過去ログをしています。

April30日Saturday: 4月29日生まれのフクロウのヒナの姿が確認できました！

カテゴリ: General 投稿者: saito



4月29日の同ブログでフクロウのヒナ誕生のニュースをお知らせしましたが、今日（4月30日）の2時30分頃の巣箱の映像で、1羽のヒナと1卵を確認することができました。

鳥博HPから、この時間のアーカイブ映像をご覧ください。親鳥が巣箱を留守にした数分間、うごめくヒナの姿を見る事ができます。

<http://field.bird-mus.abiko.chiba.jp/strix/html/2016043002m.html>

April29日Friday: フクロウのヒナがうまれました！

カテゴリ: General 投稿者: muramatsu

今日の朝、館内のフクロウ巣箱のモニターをみると、ピーピーと鳴くヒナの声が聞こえました！昨夜から今朝にかけて孵化したようです。

検索

検索

ナビゲーション

- 前の月
- 次の月
- 今日の投稿
- 過去ログ

カテゴリ

- 全てのカテゴリ
- General
- お知らせ
- 観察会
- 観察会下見
- 昆虫
- 植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

- 我孫子市鳥の博物館
- google.co.jp

1 卵目を確認したのが3月29日だったので、ぴったり1ヶ月後に孵化しました。
メスのフクロウがずっと巣箱に留まっているので、
まだ姿は見えませんが、おそらく2卵目も、もうすぐ孵化するでしょう。
ウェブサイトでは音声は聞こえませんが、館内のモニターでは
鳴き声も聞けるので、ご興味がある方は、ぜひご来館ください！



4月28日20時頃の様子



4月29日9時30分頃の様子

April13日Wednesday: カワラヒワの求愛給餌

カテゴリ: General 投稿者: someya

電線に1羽のカワラヒワが。もう1羽やってきたので観察を続けると、オスからメスに食物をプレゼントする求愛給餌が見られました。これは求愛行動の一種でペアの証です。

求愛給餌はカラス・シジュウカラ・アトリ(カワラヒワはアトリ科)・モズ・カワ

セミの各科等で見られます。

(2016.4.12 撮影)



カワラヒワ 左：オス、右：メス



メスが翼を振るわせて、オスに餌をねだっています
ヒナが親に餌をねだる姿と同じように見えます



オスがメスに餌を渡します



受け渡し完了

April13日Wednesday: モズの幼鳥

カテゴリ: **General** 投稿者: **someya**

手賀沼遊歩道を歩いていると、2羽のモズの声が聞こえてきました。声のする方を見ると、モズの巣立ち雛がいました。今シーズンも出会えました。葉が茂った木に隠れるようにとまっています。近くの木にはモズの成鳥(オス)がいました。

夕暮れ時に撮りましたので、見えにくい写真です。ご勘弁を。



モズの幼鳥。くちばしの黄色が目立ちます(2016.4.10撮影)



モズの成鳥(オス)。オスは目の黒いラインがはっきりしています(2016.4.10撮影)

こちらは別の日に同じ場所で撮影したモズの成鳥（メス）です。何羽かのモズがいましたが確認できたのはこの個体だけでした。



モズの成鳥(メス)。メスは目のラインが褐色で、お腹の鱗模様が特徴
(2016.4.13撮影)

April10日Sunday: フクロウ抱卵中

カテゴリ: General 投稿者: odaya

我孫子市内に設置した巣箱のフクロウは、順調に抱卵を続けています。第2卵の産卵から10日経ちましたが、3卵目は産まれていないので、今年の卵は2つのようです。



今日午前1時の様子。巣箱の中央に2つの卵が見えます。



抱卵中の雌。鳥の博物館2階のモニターではライブ映像を見ることができます。
開催中の企画展と併せて、ぜひ見に来てください。

April 7日Thursday: ツバメ来る！

カテゴリ: General

投稿者: odaya



4月6日、鳥の博物館の上をツバメが飛んでいました。鳥博職員の手賀沼周辺での初認は3月30日で、例年より少し遅かったようですが、もうあちこちで飛びながらさえずる姿が見られるようになりました。

昨夜はあちこちでクビキリギスやアマガエルの鳴き声が聞かれ、本格的な春の到来を感じます。

April 6日Wednesday: 今年もフクロウの子育てがはじまりました！

カテゴリ: General

投稿者: muramatsu

鳥の博物館で市内の森に設置したフクロウの巣箱で

今年も子育てがはじまりました！



3月29日の6時頃、メスが巣箱の中に座り込み始める。



同日の18時15分頃、1卵目を確認。



4月1日の3時30分頃、2卵目を確認。

フクロウはメスのみが抱卵します。

その間、オスは外敵から巣を守りながらメスへ餌を運びます。

うまくいけば約1ヶ月ほどで、ヒナの姿が見られるでしょう！

博物館では現在、企画展「フクロウさんちの子育て日記」を開催しています。

館内にあるモニターでは、子育てのライブ映像もご覧いただけますので、

ご興味がある方は、ぜひ博物館へ足をお運びください。

展示期間：2月6日（土）から6月26日（日）まで

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-03 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2016年Marchの過去ログをしています。

March18日Friday: バン食事中 (2016.3.16)

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [someya](#)

手賀沼周辺でバンが新芽を食べていました。悪戦苦闘する姿が面白く、いつまでも見ていたい感じでした。



水辺に張り出した枝にとまって辺りを見えています

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



枝には美味しそうな新芽が
翼を開閉してバランスをとっています



おとととっ
水に落ちると枝に上がって...何度も繰り返しています



首をのぼして



美味しそうに食べています

March17日Thursday: 吸蜜するメジロ (2016.3. 17)

カテゴリ: General

投稿者: saito



3月15日に登場した物欲しそうな目線!?のメジロ、オカメ桜（品種名：‘オカメ’）の花蜜が目当てだったようです。

March15日Tuesday: オカメザクラにクロウリハムシ

カテゴリ: General 投稿者: someya

鳥博の職員通用口のオカメザクラは満開で見頃を迎えています。濃いピンク色の花がきれいで目立ちます。





花の写真を撮るのに夢中になっていたら、ん？何か動く物がカメラの前に。
オカメザクラの枝にクロウリハムシがとまっていました。
オレンジと黒のコントラスト、ピカピカの体がとてもきれい♪ですが、成虫はウ
リ類等の葉を食べ、害虫として知られています。





隣の木にとまっているメジロがこちらの様子を見ていました。



March13日Sunday: 鳥の博物館玄関前のコブシ咲く (2016.3.12)

カテゴリ: General

投稿者: saito



オカメザクラにつづき、鳥の博物館前のコブシに花が咲きました。

March13日Sunday: 鳥の博物館のオカメ満開！ (2016.3.8)

カテゴリ: General

投稿者: saito



今年も鳥の博物館のオカメ桜（品種名：‘オカメ’）が満開になりました。カンヒザクラとマメザクラを掛け合わせて作出された品種で、ソメイヨシノよりも早咲きです。カンヒザクラの血を受け継いで、色もあざやかです。いよいよ桜の季節です。

March13日Sunday: 繁殖の季節！ (2016.3.6)

カテゴリ: General

投稿者: saito



手賀沼遊歩道を歩いていると、ハシボソガラスがツル植物を嘴ではがして運んで行く姿が見られました。巣づくりをはじめたのかも知れません。

March 6日Sunday: 手賀沼に5羽のオオハクチョウ (2016.3.6)

カテゴリ: General

投稿者: saito



鳥の博物館前の手賀沼水面に、今日は (2016.3.6) は5羽のオオハクチョウが見られました。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-02 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

過去ログ

あなたは現在、2016年Februaryの過去ログをしています。

February18日Thursday: 2月の手賀沼周辺の鳥の様子(2016.2.17)

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



オナガガモが土手でさかんに餌を食べていました。



ムクドリも土手の枯れた芝を嘴で押し広げて餌を探していました。この嘴の使

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
[google.co.jp](#)

い方（Open bill probing=嘴を開いて探る）は、地上で餌を採るムクドリの特徴です。



コブハクチョウが執拗に他の個体を追いかけていました。なわばり争いの始まりでしょうか。



ホオジロがさえずり、また雌雄で行動を共にする姿も見られました。



今年1月22日に当ブログで紹介したオオハクチョウの4羽（写真では3羽しか写ってません）の家族が、まだ見られます。



手賀沼の下沼南岸、染井入落河口付近でカルガモの群れに交じって行動するマガンの幼鳥（右）が見られました。

**February16日Tuesday: 手賀沼遊歩道の‘河津桜’が咲きました！
(2016.2.16)**

カテゴリ: General

投稿者: saito



手賀沼遊歩道の河津桜が咲きました。桜のシーズンの気配を感じます。

Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2016-01 >

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
						31

過去ログ

あなたは現在、2016年Januaryの過去ログを見えています。

January22日Friday: 手賀沼にコハクチョウとオオハクチョウ現れる！ (2016.1.22)

カテゴリ: General 投稿者: saito



手賀沼遊歩道を毎日のように観察している鳥の博物館友の会の方から、手賀沼にコハクチョウとオオハクチョウが入っているよ！と写真を見せてもらいました。写真から、オオハクチョウ成鳥2羽幼鳥2羽の群れ、コハクチョウ成鳥2羽、およびコハクチョウ成鳥2羽幼鳥2羽の群れがいたことが分かりました。

その後、鳥の博物館対岸の蓮田に行くと、12羽のコハクチョウに混じり、オオハクチョウ成鳥2羽幼鳥2羽、コハクチョウ成鳥2羽見られました（写真）。

北日本の大雪を避けて、南下してきたのかもかもしれませんね。

January15日Friday: 手賀沼の水鳥調査の時に見かけた鳥など (2016.1.14)

カテゴリ: General 投稿者: saito

検索

ナビゲーション

- 前の月
- 次の月
- 今日の投稿
- 過去ログ

カテゴリ

- 全てのカテゴリ
- General
- お知らせ
- 観察会
- 観察会下見
- 昆虫
- 植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



枯れたヨシの間を歩くクイナ



カモメ観察者の間でタイムルセグロカモメと呼ばれる脚に黄色味のあるセグロカモメの仲間（日本鳥類目録では現時点でニシセグロカモメに分類されている）



カシラダカ



枯れたヨシの葉鞘を外してカイガラムシの仲間を食べるオオジュリン



小刻みに片足をふるわせて（パドリングで）餌を追い出すコサギ



水面上を巡回飛行するミサゴ



さえずるホオジロ



遊歩道沿いの十月桜



大きな声で鳴き出したキジ



集団で魚を追いかけて捕るカワウ



青い虹彩色が美しいカワウ



枯れたハス群落の中で餌をねらうアオサギ



雌雄で行動するムクドリ



弁足（木の葉のような水かき）で泳ぐオオバン



ヨシ原の上を巡回飛行するチュウヒ



沼の上空を上昇していったノスリ

January13日Wednesday: 初氷みました

カテゴリ: General 投稿者: someya

今朝は寒い！この感じ、久し振りです。

今朝、都心で初氷が観測されたそうです。平年より27日遅く、昨年より29日遅い観測です。



鳥博3階の水草展示コーナーを見ると氷がはっていました。



博物館周辺の植物も霜で真っ白

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-12 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2015年Decemberの過去ログをしています。

December27日Sunday: 12月15日手賀沼の水鳥調査の時に見かけた鳥

カテゴリ: General

投稿者: saito



田んぼで採餌中のキジ



地上で採餌するオオバン

検索

検索

ナビゲーション

前の月

次の月

今日の投稿

過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ

General

お知らせ

観察会

観察会下見

昆虫

植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



水面で多数見られたカンムリカイツブリ



浅瀬でコサギが採餌



追いかけるオオバン



ダイサギも採餌中



ホオジロのさえずりも聞かれた



ヨシ原の中から出てきたアカハラ



チュウヒの出現に飛び立つマガモ



杭に止まるトビとハシボソガラス



餌が少なくなり水中に餌をもとめて潜るオオバン



水中の緑藻をつまみあげて食べるオオバン



下沼で見られたキンクロハジロ



しだいに数が増えてきたツグミ



ノイバラの中のカシラダカ



船に驚きヨシ原から飛び出したゴイサギ幼鳥



ヒドリガモ



ヨシ原の縁で餌をねらうカワセミ



陸上で餌を食べるコブハクチョウ



群れるスズメ



枯れたヨシの葉鞘からカイガラムシの仲間を食べるエナガ



眉斑の色のうすいエナガ



群れるユリカモメ



沼周辺の各所で見られたモズ



餌の魚を捜して巡回飛行するミサゴ

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-11 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

過去ログ

あなたは現在、2015年Novemberの過去ログをしています。

November11日Wednesday: 手賀沼遊歩道で今日見た鳥など (2015/11/11)

カテゴリ: General 投稿者: saito

冬鳥もだいぶ出そろったようで、日々渡来情報が聞かれるようになりました。

今日、手賀沼遊歩道付近で見かけた鳥たちです。



数年前から我孫子の冬鳥として定着したミヤマガラス

検索

検索

ナビゲーション

前の月
次の月
今日の投稿
過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ
General
お知らせ
観察会
観察会下見
昆虫
植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館
google.co.jp



ジョウビタキもあちこちで鳴いていました



アオジの声もヨシ原や藪の中から聞こえて来ます



ハシブトガラスがトビにちょっかいを出していました



モズもなわばりを確立したのか、決まった場所で鳴いています



二期咲きの十月桜も満開

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-10 >

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

過去ログ

あなたは現在、2015年Octoberの過去ログをしています。

October11日Sunday: ノビタキも渡りの季節 (2015/10/11)

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



夏の日光などでおじみのノビタキ、南方への渡りの途中、関東平野にも立ち寄ります。利根川沿いの北新田の大豆畑で数羽のノビタキが見られました。初列雨覆の先端に淡色の斑があることから今年生まれの若いノビタキのようです。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)



Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-09 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

過去ログ

あなたは現在、2015年Septemberの過去ログをしています。

September20日Sunday: 渡りの季節 (2015.9.19)

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

利根川沿いの北新田を車で走っていると、目の前の電柱から一羽のノスリが飛び立ち、上昇をはじめました。車を止めて観察していると、どこからともなく他に2羽のノスリが加わり、上空で輪を描いていました。さらに2羽加わり、全部で5羽のノスリが一つの上昇気流の中で輪を描き上昇し、南下して行きました。



水路に目を移すと、コガモの姿が見られました。北からの第一陣でしょうか。

検索

検索

ナビゲーション

- [前の月](#)
- [次の月](#)
- [今日の投稿](#)
- [過去ログ](#)

カテゴリ

- [全てのカテゴリ](#)
- [General](#)
- [お知らせ](#)
- [観察会](#)
- [観察会下見](#)
- [昆虫](#)
- [植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
google.co.jp



手賀川沿いでは、チョウゲンボウやハヤブサが見られました。



September15日Tuesday: サシバ飛び出す (2015.9.14)

カテゴリ: General

投稿者: saito



9月13日、雨あがりの晴れた朝、利根川近くの樹林からサシバの幼鳥が気流に乗って上昇し始めました。と思ったら、またもとの樹林に降りて来ました。渡りのタイミングを計っているのでしょうか。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-08 >

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

過去ログ

あなたは現在、2015年Augustの過去ログをしています。

August30日Sunday: 杜鵑（トケン）類の季節（2015.8.30）

カテゴリ: General 投稿者: saito



毛虫（モンクロシャチホコの幼虫）を食べるツツドリ



ホトトギスも毛虫が大好き

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)



google.co.jp



ヒロヘリアオイラガの幼虫を飲み込むホトトギス

鳥の博物館友の会の方から、「手賀沼遊歩道の広場のサクラにトケンルイが来ているよ」との情報が入りました。

杜鵑（とけん）とは、ホトトギスの古名で、この仲間のことを、トケン類と呼ぶこともあります。繁殖期を終え、これから始まる南方への長旅に備えてエネルギーを蓄えるため、餌の毛虫を食べに市街地の公園にも立ち寄ります。

遊歩道に行くと、ツツドリとそれより一回り小型のホトトギスが見られ、サクラの樹上で毛虫（モンクロシャチホコの幼虫）を次々に食べていました。

いくら毛虫好きの杜鵑類といえど、触れると激痛の走る毒棘を持つヒロヘリアオイラガの幼虫をホトトギスが平気で飲み込むシーンには驚きです。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-07 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

過去ログ

あなたは現在、2015年Julyの過去ログをしています。

July26日Sunday: クサガメの卵を発見

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [someya](#)

先日、3階のベランダスペースで飼育しているクサガメが卵を産んでいました。白くて、中がうっすら透けていて、楕円形の卵です。

今のところ数を増やす予定はありません。産卵場所を作っていませんでしたので、水中で産んだようです。残念ながら殆ど壊れてしまっていました。卵の数は4つ位でしょうか。1つだけきれいに残っていましたが、長時間転卵してしまったので、かえらないでしょう。

淡い期待を込め、別の場所にうつし、見守っています。



クサガメの卵が！

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



殆ど壊れていました

July17日Friday: 7月15日、手賀沼水面鳥類調査の時に見た生き物たち

カテゴリ: General 投稿者: saito

鳥の博物館周りでは、ニイニゼミ、ヒグラシが鳴いています。アブラゼミとミンミンゼミの声を聞いたという情報も届いています。

さて、7月15日には手賀沼の水面で見られる鳥類の調査を行いました。この時に見かけた生き物のアルバムです。



換羽中のトビ



猛暑の中、口を開けてあえぎ呼吸するハシボソガラス



換羽中のカワウ



ハンゲショウの群落も健在



ハスの花



ホオジロもさえずっています



カワラヒワの幼鳥



最盛期は過ぎましたがオオヨシキリがさえずっています



ウチワヤンマとコフキトンボ (×シオカラトンボ・・・訂正2015.7.27)



カルガモの群れ



手賀沼には外来種のアカミミガメがたくさん



毎年暑くなると大発生するアカマクミドリムシ



拡大しつつあるアカボシゴマダラ

Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-06 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

過去ログ

あなたは現在、2015年Juneの過去ログをしています。

June 3日Wednesday: フクロウのヒナ、3羽目が巣立ちました

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [someya](#)

鳥博のフクロウ巣箱の速報です。

6月1日(月)の18時53分、3羽目のフクロウのヒナが巣立ちました。これで3羽のヒナ全てが巣立ったこととなります。

ヒナはまだ飛べないうちに巣から出ます。巣立ってから2、3ヶ月は親から餌をもらい、狩りの方法もこの時期に学びます。自分で獲物が捕れるようになると、若いフクロウは新たな生活場所を求めて親元から離れていきます。



3羽目のフクロウが巣立つ前
巣箱の中をキョロキョロ

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



3羽目のフクロウが巣立つ直前
「今だ！」(ヒナの気持ちを代弁)



3羽のヒナが巣立って寂しくなった巣箱
無事に大きくなって欲しいですね

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-05 >

日 月 火 水 木 金 土
1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

31

過去ログ

あなたは現在、2015年Mayの過去ログをしています。

May28日Thursday: フクロウのヒナ巣立ちました

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [someya](#)

鳥博のフクロウ巣箱の速報です。

5月26日(火)の18時46分に1羽目、5月28日(木)の8時32分に2羽目のヒナが巣立ちました。

最後の1羽が巣立つのも間もなくです。その瞬間をお見逃しなく！



巣箱の出入口に2羽のヒナがならんでいます

この後、1羽が巣箱の外へ

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



2羽目のヒナもこの後巣箱の外へ



巣箱に残るのはあと1羽
なんだか寂しそうに見えます

May13日Wednesday: メダカの稚魚誕生

カテゴリ: General 投稿者: someya

鳥博の3階ベランダではミナミメダカ（以下メダカ）を飼育しています。

暖かくなってきた4月の下旬に産卵がみられました。安定してみられるようになってきたので、卵を採集して、別の容器にうつしました。卵や稚魚は別の容器にうつさないと大人のメダカに食べられてしまう可能性があります。

本日、今シーズン初となる、メダカの稚魚を確認しました（稚魚は別の場所で飼育しているのでご覧いただけません）。小さくてかわいらしい！まだ泳ぎが

余り速くないので、レンゲで簡単にすくえます。

メダカの産卵は9月頃までみられます。



レンゲですくったメダカの稚魚

夏休み期間中、メダカに関するイベントを行います。メダカの稚魚を見たい、メダカを飼育してみたいという方はぜひご参加下さい！（メダカイベントの実施日はまだ未定です。）

May 2日Saturday: フクロウのヒナ、3羽目を確認しました！

カテゴリ: **General** 投稿者: **muramatsu**

2卵の孵化から二晩おき、5月1日の18時台の映像で3羽目のヒナの姿を確認しました。



5月1日18時40分。一番小さなヒナが3羽目。



前日4月30日の22時40分の映像では、まだ卵の状態です。



5月1日の2時48分の映像を見ると、メスのフクロウが卵の殻をお腹の下から出す様子が分かります。おそらく、その辺りに孵化したと思われます。

これで無事、3卵すべて孵化しました。館内では音声付きのカラー映像をライブでご覧いただけます。フクロウのヒナの声をお聞きになりたい方は、ぜひご来館ください！

May 1日Friday: オスのフクロウ登場

カテゴリ: General 投稿者: someya

4月30日の23時20分、オスのフクロウが巣箱に餌を運んできました。



写真上がオス、下がメス

運んできたものが「ふくろう出入口カメラ」によく映っていましたので紹介します。くわえていたものは・・・



どーん！大きなネズミでした。

「ふくろう巣箱カメラ」と合わせて「ふくろう出入口カメラ」の映像もご覧くださいと、より観察が楽しくなります。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-04 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

過去ログ

あなたは現在、2015年Aprilの過去ログをしています。

April29日Wednesday: フクロウ、2羽目のヒナ確認！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [someya](#)

ふくろう巣箱の速報です。

昨日は1羽目のヒナを確認したお話をしましたが、昨日の夕方（18時35分）に2羽目のヒナの姿が確認できました。

メスが巣箱を出た後、寄り添いながらモゾモゾと動いている姿がかわいらしく見えます。

残るはあと1卵。孵化が待ち遠しい！



April28日Tuesday: フクロウの1羽目のヒナを確認！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [muramatsu](#)

前回の投稿でフクロウの転卵について書き込みましたが、

今日の1時19分、ヒナの姿が確認できました。

抱卵をしていたメスがオスから餌を受け取るために巣箱を出ると、

1羽目のヒナの姿が。

おそらくこの数日の間に残りの2卵もかえることでしょう。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp

孵化後しばらくはヒナは自分で体温調節ができないので、メスのフクロウが温めながら餌を与えます。ヒナが大きくなりメスが巣箱を離れられるようになるまで、オスのフクロウだけでメスとヒナに餌を運ばなければなりません。お父さん、大忙しです！



27日の夜はまだヒナの姿はありません。



28日1時19分、メスのフクロウが巣箱を出ると1羽目のヒナの姿が！



ちなみに戻ってきたメスはクマネズミを運んできました。

April26日Sunday: フクロウの子育て ～ 転卵する姿～

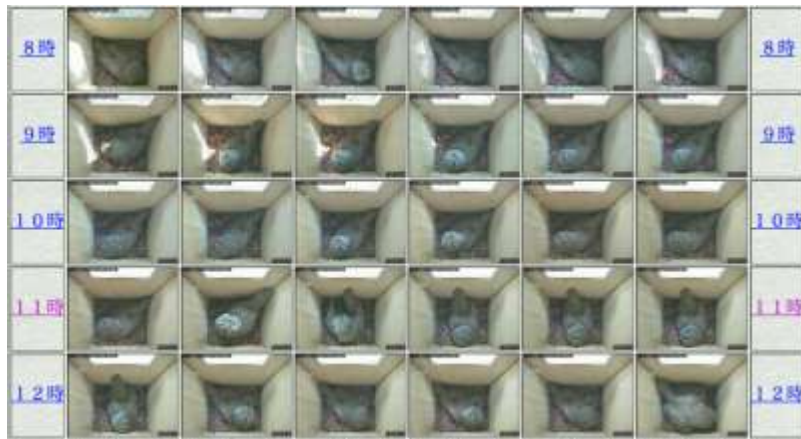
カテゴリ: General 投稿者: muramatsu

鳥の博物館ではフクロウの巣箱にカメラをつけて、子育ての様子を観察しています。
3月末に卵を確認してから、約1ヶ月が経ちました。
そろそろ孵化（ふか）する頃ですが、
昨日の夜は、まだヒナの姿は見られませんでした。



映像を見ていると、メスのフクロウがウトウトしながら

卵をあたためている様子がご覧いただけますが、じっと座っているわけではありません。よく見ると卵が均一にあたたまるように、体の向きを変えているのが分かります。



時々、立ち上がってゴソゴソと卵の位置を変えている姿も見られます。



これは転卵（てんらん）といって、外側にある卵を温度が高い中央に動かしています。

順調にいけば、もうすぐヒナの姿がみられます。孵化する前に、ぜひ、ふくろう巣箱カメラで転卵シーンを探してみてください。

鳥の博物館ふくろう巣箱カメラ

<http://field.bird-mus.abiko.chiba.jp/strix/>

April24日Friday: モズの幼鳥

カテゴリ: General

投稿者: someya

手賀沼遊歩道沿いでモズの声が聞こえました。何羽かの声が聞こえたのでその方向を見てみると、モズの親子に出会いました。モズは他の鳥よりも一足先に繁殖シーズンをむかえます。（写真は全て2015.4.21撮影）



葉が茂った木から顔を出したモズの幼鳥



モズの幼鳥が姿を見せてくれました
まだ短い尾羽をクルクルとまわしていました



親鳥に餌をねだる幼鳥
口元の黄色みが目立ちます

April 2日Thursday: 春の訪れ

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [someya](#)

暖かくなってきたと思いきや、汗ばむような日もある今日この頃。
博物館の3階ベランダでは身近な自然を感じられる小コーナーがあります。
春の花がみられたり、ミナミメダカやカメも活動し始めました。



コオニタビラコ 春の七草のホトケノザは本種



ミナミメダカ エサを食べ始めました

April 2日Thursday: フクロウ、第三卵を確認

カテゴリ: General 投稿者: someya

フクロウの最新情報です。

4月1日の21時22分に第三卵を確認しました。

順調にいけば約一ヶ月後にはヒナがみられる予定です。

今後もふくろうカメラをチェック！



とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-03 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

過去ログ

あなたは現在、2015年Marchの過去ログをしています。

March29日Sunday: 第2卵も産まれました

カテゴリ: General 投稿者: odaya

今日19時過ぎ、第2卵も産卵されました。親はもうすでに抱卵を始めていますので、雛が孵る日にちもずれることが予想されます。



March26日Thursday: 速報 巣箱のフクロウが第一卵を産卵!

カテゴリ: General 投稿者: odaya

今朝から巣箱に入っていましたが、予想通り日没後に第一卵が産卵されているのが確認できました。これから続けて産卵に入るものと思われます。

検索

検索

ナビゲーション

- 前の月
- 次の月
- 今日の投稿
- 過去ログ

カテゴリ

- 全てのカテゴリ
- General
- お知らせ
- 観察会
- 観察会下見
- 昆虫
- 植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

- 我孫子市鳥の博物館
- google.co.jp



March20日Friday: 早咲きの桜、第二弾！

カテゴリ: General 投稿者: saito



カンヒザクラとマメザクラの雑種から作出されたオカメ桜（品種名：‘オカメ’）。鳥の博物館職員通用門の脇で満開です。（2015.3.17）



手賀沼遊歩道沿いの'カワヅザクラ（河津桜）'が咲きました。カンヒザクラとオシマザクラの雑種です。（2015.3.18）

Copyright | Nucleus CMS v3.64 | Valid XHTML 1.0 Strict | Valid CSS | [トップページに戻る](#) | Since 15,Mar.2008

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-02 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

過去ログ

あなたは現在、2015年Februaryの過去ログをしています。

February24日Tuesday: 春咲きの桜シーズン到来！

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [saito](#)



検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)

博物館に一番近い高野山小学校校庭の“カンザクラ（寒桜）”が咲きました。この栽培品種は、早咲きのカンヒザクラ（寒緋桜）とヤマザクラ（山桜）の雑種と考えられています。



とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2015-01 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2015年Januaryの過去ログをしています。

January23日Friday: バフ変のヒヨドリ

カテゴリ: General

投稿者: odaya



1月のでがたん終了後、博物館の裏に白っぽい鳥が飛び込むのが見え、枝に止まったところを確認するとヒヨドリでした。翼や背面が一様に汚れた白色になっています。これはバフ変と呼ばれる色素変異の一つで、鳥でもしばしば様々な鳥で見られるものです。ピラカンサに集まっていたヒヨドリの中に入っているのも見られましたが、もうどこかに移動してしまったかもしれません。

January14日Wednesday: 鳥博事務所前のトキワサンザシの果実、鳥に大人気!!

カテゴリ: General

投稿者: saito

検索

検索

ナビゲーション

前の月

次の月

今日の投稿

過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ

General

お知らせ

観察会

観察会下見

昆虫

植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



2015年1月8日、今年はトキワサンザシの果実が見事に結実しました。



早速、ムクドリが訪れました。危険を感じると、近くの電線に一時避難。



電線の下には、トキワサンザシはもちろん、ムクドリが吐き出した、ハゼ、マンリョウ、そしてセンダンの種子が落ちています。きっと、近所の庭先で食べて来たのでしょう。



ヒヨドリも訪れました。



メジロも果実を丸呑み。



ツグミの姿も。



2015年1月12日、連日の小鳥の大攻勢の結果、果実はすっかり食べ尽くされました。きっとトキワサンザシの種子は、近くの庭や畑の中に広く蒔かれたことでしょう。



あとは地上に落ちて残る果実を食べるムクドリの姿のみ。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-12 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2014年Decemberの過去ログをしています。

December14日Sunday: 博物館の裏のエゴノキは、ヤマガラで大盛況！

カテゴリ: General

投稿者: saito



鳥の博物館の裏のエゴノキには、連日4～5羽のヤマガラが訪れ、にぎわっています。樹上の実がほとんど落ちたため、地上でエゴノキの実を探しています。

検索

検索

ナビゲーション

前の月

次の月

今日の投稿

過去ログ

カテゴリ

全てのカテゴリ

General

お知らせ

観察会

観察会下見

昆虫

植物

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

我孫子市鳥の博物館

google.co.jp



エゴノキの実を見つけると、樹上へ運びます。



運んだエゴノキの実を、両足で手頃な枝に押さえつけ、嘴で割って脂肪分豊富な胚乳を食べます。



近くに置いた水草増殖用のトロ箱は、格好の水飲み場となっています。

December14日Sunday: 手賀沼でクロハラアジサシ越冬か？

カテゴリ: General

投稿者: saito



クロハラアジサシは、2002年～2004年にかけてはじめて手賀沼で記録され、その後しばらく見られませんでした。2010年から再び記録されるようになりました。

今年は、11月に入ってから、鳥の博物館友の会会員や我孫子野鳥守の会会員の方たちの目撃情報が寄せられるようになりました。12月に入っても、手賀沼公園の前の手賀沼には、3羽～4羽見られており、越冬するかも知れません。写真の3羽（2014年11月26日）は、いずれも、今シーズン生まれの幼羽の残る個体です。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-10 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2014年Octoberの過去ログを見ています。

October 5日Sunday: 10月のでがたん予告

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

10月のでがたんでは、9月に続いて身近な草地に注目します。いわゆる「雑草」と呼ばれるイネ科やカヤツリグサ科の植物は、多様な種類が生態系を支えています。私たちの主食であるコメやコムギも、イネ科の植物によって作られるものです。今回のでがたんでは、身近な草地をかたちづくる雑草たちの世界を覗いてみましょう。



てがたんコースの草地に生えているオヒシバ。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



裏を見ると、ぎっしりと種子をつけているのがわかります。種の付き方や構造は種ごとにさまざま、見分けるポイントにもなります。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-09 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

過去ログ

あなたは現在、2014年Septemberの過去ログをしています。

September17日Wednesday: モズ高鳴き！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



鳥の博物館回りでは、9月5日にモズの高鳴きを聞きました。

September17日Wednesday: エゴノキの果実が実り、ヤマガラ参上！

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
[google.co.jp](#)



博物館の裏口のエゴノキに果実が実りました。



9月半ばから、毎日ヤマガラが訪れています。

September17日Wednesday: 博物館建物まわりの生き物

カテゴリ: General 投稿者: saito



ナガエコミカンソウの群落。小さな雌雄の花と果実が見えます。コミカンソウという在来種もありますが、これはアフリカ原産の移入種とのこと。



コムラサキの果実が色づきました（おそらく鳥が種子散布）。



最近、裏山でやたら見かけるオナガグモ（松葉がひっかかっているように見えます。クモ食いのクモです。）



クロモジの葉っぱがきれいにカットされています。きっとハキリバチの仲間の仕業でしょう。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-07 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

過去ログ

あなたは現在、2014年Julyの過去ログをしています。

July27日Sunday: フクロウの巣箱訪問

カテゴリ: [General](#)投稿者: [odaya](#)

今日の午前3時22分ごろ、フクロウが巣箱を覗きにきました。1分ほど中を見回したのち、飛び去りました。今はヒナが巣立ってほぼ2か月、そろそろヒナも独立するころなのに、なぜ巣箱を見回のでしょうか？

このように繁殖期外に覗きに来る行動は、ほぼ1年中見られることが鳥の博物館のふくろうカメラで確認できました。フクロウにとって巣箱や樹洞は大切な子育ての場ですが、哺乳類などに占領されてしまうと、使えなくなってしまいます。そのため、いくつかの営巣する候補の場所を時々見回って、異常がないか点検しているのだと考えられます。

それにしてもこのフクロウ、お腹がとても汚れています。泥のぐちゃぐちゃしたところでネズミやカエルを捕まえたのでしょうか？ 想像をかき立てられますね。

検索

ナビゲーション

[前の月](#)[次の月](#)[今日の投稿](#)[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)[General](#)[お知らせ](#)[観察会](#)[観察会下見](#)[昆虫](#)[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)[google.co.jp](#)

July23日Wednesday: 手賀沼周辺の鳥たちの子育て

カテゴリ: General

投稿者: odaya



16日の水面調査でみられた繁殖中の鳥たちの様子をお伝えします。



カルガモは、下沼の2か所で家族が見られました。このメス（先頭）は7羽の大きく育ったヒナを連れて歩いていました。カルガモのオスは全く子育てを手伝いません。



コブハクチョウのヒナはガチョウぐらいの大きさに成長していました（右2羽がヒナ）。大きくなっても、まだ声は幼く「ピーピー」と鳴いて親についていきます。コブハクチョウはオスがメスや子供と一緒に行動し、近づいてきた外敵を威嚇したりします。



カワラヒワは2羽の巣立ちビナ（左2羽）が親に餌をねだっていました。もう飛べるようになっているのですが、しばらくの間は親と一緒に過ごすようです。

July16日Wednesday: 下沼のアヒルに事件！？

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**

下沼では2つがいのアヒル（家禽が捨てられたか逃げたもの）が観察されていました。全身白いペアと、茶色いペアがそれぞれ滝下広場付近と染井入落付近にいたのですが、今日の手賀沼調査で、ペアの組み合わせが入れ替わっているのが観察されました！

いつどのタイミングで入れ替わったのか不明ですが、この入れ替わりが今後も続くのか、注目してみたいと思います。彼らの関係について何かご存じの方がいらっしゃいましたらぜひ博物館に情報提供をお願いします。

2012年のシロアヒルのペア

<http://strix.in/tegatan/index.php?itemid=170>



染井入落付近にいたペア。白いほうが移動してきたアヒル。



滝下広場付近にいたペア。茶色いほうが移動してきたアヒル。

追記2014年8月6日

博物館友の会のNさんより、滝下広場で今年7月12日に撮影されたこのペアの写真を提供いただきました。

交尾の瞬間が写されていて、白いアヒルがメスであることがわかります。すなわち、このペアの交換はそれぞれオスが移動して起こったことがわかりました。貴重な写真を提供していただいたNさん、ありがとうございました。



滝下広場付近にて2014年7月12日に撮影されたペア

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-06 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

過去ログ

あなたは現在、2014年Juneの過去ログをしています。

June13日Friday: 河原の鳥観察会下見

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

13日午前中に、6月21日に実施予定のあびこ自然観察隊「河原の鳥を観察しよう」の下見に行ってきました。河川敷を望む堤防に立つと、河原に暮らす鳥たちのさえずりが聞こえてきます。



まず目につくのはヒバリです。さえずりながら空高く上昇することから、「揚げヒバリ」とも言われます。河原や畑などの開けた環境を好み、地面に巣を作ります。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



オギの中を通る小道に足を踏み入ると、「ギョシギョシ」と元気の良い声に包まれます。こちらはオオヨシキリ。我孫子には4月の終わりにやってきて、川沿いの草地で繁殖します。



オオヨシキリに混じって、やや高い声の似たさえずりをするのはコヨシキリ。さまざま他の鳥のさえずりを取り入れてさえずることが知られています。利根川の下流域では限られた場所にしか分布しない鳥です。

今年の観察会も、これらの鳥たちに出会うことができそうです。
観察会のご案内は以下のとおりです。まだ空きがありますので、ぜひ参加をご検討ください。

あびこ自然観察隊 「河原の鳥を観察しよう」

日時：6月21日（土） 9：00～12：00（雨天・冠水の場合中止）

観察場所：利根川ゆうゆう公園

集合場所：みどり園駐車場（申込時に場所をお伝えします）9：00集合、正午現地解散

定員：30名（小中学生は保護者同伴）

参加費：100円（中学生以下無料）

申し込み：電話で鳥の博物館まで 04-7185-2212

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-05 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2014年Mayの過去ログをえています。

May24日Saturday: 3羽目のヒナも無事巣立ちました！

カテゴリ: General 投稿者: saito



2014年5月24日午前5時3分2秒、まだ巣箱の入口にとまっています。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

[google.co.jp](#)



2014年5月24日午前5時3分3秒、ヒナは巣立ち、巣箱は空っぽ。



巣立ったヒナも確認できました。後は、フクロウ家族が無事育つことを祈るのみです。

関心を持って視聴してくれた皆さま、ありがとうございました。

May23日Friday: 2羽目のヒナも巣立ち！

カテゴリ: General 投稿者: odaya

昨日夕方、18:42に2羽目のヒナも巣立ちました。数十分巣箱の入り口でぶら下がるような行動を繰り返した後、落下するように巣立っていきました。



May22日Thursday: **【速報】** フクロウ1羽目巣立つ！

カテゴリ: General 投稿者: odaya

今日午前10:33分、1羽目のヒナが巣立ちました！



10時22分20秒、3羽のヒナが見えます。



10時22分21秒、真ん中にいたヒナが飛出し、画面が真っ暗になりました（翼がカメラに当たったため）。



10時22分22秒、ヒナは2羽になりました。



さっそく、山階鳥類研究所と協力して標識・測定などが行われ、巣の近くに戻されました。



巣立った兄(姉?)を見つめる残り2羽の兄弟。彼らの巣立ちもあと数日でしょう。

May20日Tuesday: ふくろうのヒナすくすく成長 その5

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

今朝、2羽が巣箱の入り口に立ちました。写真は、巣箱の入り口に向けたカメラに映ったものです。あと数日以内に巣立つ見込みです。



May18日Sunday: アカボシゴマダラ

カテゴリ: General

投稿者: odaya



写真のチョウ、博物館前の植え込みを飛んでいたところを捕まえました。アカボシゴマダラという中国原産のチョウです。在来種のゴマダラチョウに似ていますが、名前のとおり、後翅に赤い斑点があるのが特徴です。しかし、春に発生するものは全体に白っぽいのが特徴です。

1995年に埼玉県で見つかったから、関東地方で徐々に分布を広げていて、数年前から我孫子でも見られるようになったようです。オオムラサキやゴマダラチョウなど、ほかのエノキを食べるチョウとの競合などが心配されています。

この種について詳しく知りたい方は、国立環境研究所のHPをご参照ください。

<http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60400.html>

May16日Friday: フクロウのヒナすくすく成長 その4

カテゴリ: General

投稿者: odaya

先ほど15:10ごろ、フクロウのヒナ1羽が巣箱の入り口に立ちました！初めて見

た外の景色は、彼（彼女？）の目にはどう映ったのでしょうか。巣立ちまであともう少しでしょう。



May13日Tuesday: ふくろうのヒナすくすく成長 その3

カテゴリ: General 投稿者: odaya

GW中に更新しない間に、ヒナはさらに大きくなり、立ち上がって巣箱内を動き回るようになりました。親は食べ盛りの子どもたちのために餌運びに最も忙しい時期です。最近では中型の鳥（キジバト？）を持ち込むこともあり、巣箱の底には大きな羽毛が散らばっています。

最初のヒナの巣立ちまで、もうすぐかもしれません。



May 3日Saturday: フクロウのヒナすくすく成長 その2

カテゴリ: General 投稿者: odaya

ここ数日、フクロウのメスが巣箱を留守にするようになりました。ヒナの羽毛

がある程度生えそろうと、常に温めている必要がなくなるからです。ヒナは、時々巣箱の中を動き回り、まだ短い翼をばたつかせたりしています。しかし、最後に生まれたのヒナの成鳥が悪く、2羽目のヒナから時々つつかれています。なんとか巣立ちまでこぎつけられるでしょうか？



今日は自然観察会「てがたん」の下見で博物館の周りを歩きましたが、キビタキの声が近くの林から聞こえてきました。モズの親子連れも観察できました。来週10日（土）のてがたんでは、最初にふくろうモニターの前で、フクロウの子育てについてお話をを行います。ぜひご参加ください。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-04 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

過去ログ

あなたは現在、2014年Aprilの過去ログをしています。

April29日Tuesday: フクロウのヒナすくすく成長

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

我孫子市内のフクロウの巣箱で、最初のヒナが孵化してから1週間がたちました。ヒナはかなり大きくなって、特徴的な顔の模様もはっきりしてきました。昨夜、親が持ち込んだ大型のネズミの仲間（ドブネズミまたはクマネズミ;画像の左上に長い尾が見えます）をちぎってヒナに与えている様子が観察できました（写真）。



April26日Saturday: フクロウ巣箱、ヒナ3羽を確認

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

昨夜、メスが巣を空けた際に、3羽のヒナを確認できました！これで、産まれていた卵はすべて孵ったことになります。

検索

ナビゲーション

- [前の月](#)
- [次の月](#)
- [今日の投稿](#)
- [過去ログ](#)

カテゴリ

- [全てのカテゴリ](#)
- [General](#)
- [お知らせ](#)
- [観察会](#)
- [観察会下見](#)
- [昆虫](#)
- [植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

リンク

- [我孫子市鳥の博物館](#)
- google.co.jp



3:10ころ、メスが巣を空けました。巣箱の中央に見えるの白いふわふわしたものがヒナです。よく見ると、3羽いるのがわかるでしょうか。



こちらは、今朝7:40の画像です。親が少し体をずらすと、かわいいヒナの姿が見えてきます。

2013年までにフクロウの繁殖をモニターできたのは5回ですが、そのうち3卵が産まれたのは1回だけで(2008年)、その年に巣立つことができたのは2羽だけでした。餌の量が少ないと、うまく子どもを育てられないことがあります。3羽が無事に育ってくるとよいですね。

April25日Friday: フクロウ3卵目も孵化か?!

カテゴリ: General 投稿者: odaya

最後まで温められていたフクロウの3卵目ですが、昨晚の間に孵化したようです。今朝早朝の画像を見ると、画面の左上すみに卵の殻が確認できます。博物館のモニターでは、ヒナの鳴き声がよく聞かれるようになりました。メス

が少し動くと、かわいいヒナの姿も見ることができます。



April23日Wednesday: 鳥博前にコムクドリ到着！

カテゴリ: General 投稿者: odaya

今日4月23日の昼、鳥博前の親水広場のサクラに、コムクドリが飛来していました。コムクドリは春に日本へに渡ってくる渡り鳥で、北海道や本州の高原などで繁殖します。長い旅の途中で、我孫子に立ち寄っているのです。



オスのコムクドリ。ムクドリより少し小ぶりで、ほほに栗色の斑点があるのがトレードマークです。



こちらはメス。オスに比べると少し地味ですね。花びらの散ったサクラを花ごと食べていました。

現在開催中の「日本の鳥展 -鳥の見わけかた-」でもコムクドリをはじめ、さまざまな鳥たちの本剥製を展示しています。手賀沼にバードウォッチングにお越しの際は、ぜひ鳥の博物館にもお立ち寄りください！

April23日Wednesday: フクロウ2卵目も孵化！

カテゴリ: General 投稿者: odaya



22日の午前0時30分の映像では、1羽のヒナと2つの卵が確認できます。解像度が悪くてわかりづらいですが、矢印の先の灰色の小さいもこもこしたものがヒナです。



そして、22日の午後7時10分、2羽のヒナが確認できました。

残りあと1卵は、もうすでに孵化している可能性があります、まだ確認できておりません。確認次第、こちらでご報告します。

April21日Monday: 【速報】フクロウ1卵が孵化！

カテゴリ: General 投稿者: odaya

昨日お伝えしたフクロウのヒナですが、今朝1つが孵化したようです！
5時頃、メスがおなかの下から卵の殻を取り出すのが確認されました。画面の右下に転がっている卵の殻が写真からも確認できます。
同じく画像の右下に写っているのは餌のネズミの仲間、右端中央に写っているのは同じく餌として運ばれた小鳥（種不明）と思われます。ヒナはおそらくメスのおなかの下でしょう。これから無事に育ってくれることを願うばかりです。



*なお、市役所の公式Facebookで「ヒナが2羽孵化した」という情報が本日昼ごろ流れましたが、そのような事実は確認できておりませんので、ここに訂正してお詫びいたします。

April 20日 Sunday: フクロウ孵化間近! ?

カテゴリ: General 投稿者: odaya



ふくろうカメラでモニターしている巣箱に第1卵が生まれてからちょうど1ヶ月が過ぎようとしています。順調にいけば、今日にもヒナがうまれるはずですが、さきほどモニターを確認したところ、昨晚の段階では3つの卵が並んでいるのが見え、まだ孵化していなかったようです。

10時ごろ、メスがさかんにおなかの下に嘴をいれ、ごそごそと卵を動かしている(?)様子が確認されました(写真)。もしかするとヒナの孵化が始まっているのかもしれませんが。明日以降ヒナが確認されるか注目です!

本日の様子はこちらからご覧いただけます。 <http://field.bird-mus.abiko.chiba.jp/strix/>

April 4日 Friday: 最近の手賀沼鳥情報 (2014/4/4)

カテゴリ: General 投稿者: odaya

手賀沼遊歩道沿いの桜"ソメイヨシノ"はほぼ満開で、見ごろを迎えています。鳥たちの様子もなかなかぎやかになっています。



同じ枝にとまっていたモズとアリスイ（4月2日）。モズは子育てのための餌とり、アリスイは北国への渡りの準備にいそがしい時期です。



遊歩道沿いのアシ原に潜むクイナ（4月4日）。なかなか姿をみるのは難しいですが、時々「キューーキューー」という声が聞かれます。この日は「キョ、キョ、キョキョキョキ…」という感じのヒクイナのさえずりも聞かれました。



水を飲みに降りてきたコイカル（4月4日）。朗らかなさえずりを聞くこともできました。

手賀沼遊歩道は桜の花、さまざまな鳥たちで賑やかになっています。通行の邪魔にならないよう、注意して観察を楽しみましょう。

お越しの際は鳥の博物館にもぜひお立ち寄りください。企画展「日本の鳥展－鳥の見わけかた－」開催中です！

April 4日Friday: フクロウお父さんの餌はこび

カテゴリ: General 投稿者: odaya

巣箱のフクロウは、順調に卵を温めています。卵を抱くのはメスの仕事で、オスはお腹をすかせたメスのために、時々餌を運んできます。写真は昨日の深夜にネズミの仲間を運んできたところ。まだ小鳥のヒナが少ない今の時期には、小さな哺乳類が大事な餌になっているのかもしれません。



ふくろう出入口カメラ(我孫子市鳥の博物館)

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-03 >

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

過去ログ

あなたは現在、2014年Marchの過去ログをしています。

March26日Wednesday: フクロウ巣箱 3 卵目確認!!

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)



2014年3月26日18時50分、フクロウ巣箱で3卵目を確認しました。

March23日Sunday: フクロウ巣箱に 2 卵目確認

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [saito](#)

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



2014年3月23日18時17分、フクロウ巣箱の中に2卵目が確認できました。

March20日Thursday: 鳥博巣箱カメラでフクロウの産卵確認!!

カテゴリ: General 投稿者: saito



2014年3月20日18時13分、フクロウが飛び出すと、巣箱の底に卵が1個確認できました。



2014年3月20日6時10分、鳥の博物館近くの林地に架設した巣箱にフクロウが入り、留まり始めました。

March20日Thursday: オカメザクラ咲く!!

カテゴリ: General 投稿者: saito



鳥の博物館職員通用門わきの桜の花が咲きました。

この桜は“オカメ”と呼ばれる、カンヒザクラとマメザクラの雑種から生まれた園芸品種です。イギリスの園芸家イングラムによって1947年（昭和22年）に作出されました。

低木の品種で、盆栽仕立にも適しています。

紅色で下向きの花弁を持つことや、早咲きである性質は、原種カンヒザクラゆずりです。

March12日Wednesday: コガモの集団お見合い

カテゴリ: General 投稿者: odaya

この時期、手賀沼沿いを歩いていると、沼の方から、「ピリッ、ピリッ」と高

い声が聞こえてきます。コガモが湖岸で集団お見合いをしているのです。コガモをはじめとするカモの仲間は、冬の間におスとメスがペアになります。ペアを作る時期はカモの種類により様々ですが、コガモでは2月くらいから盛んに求愛行動が見られるようになります。オスはメスを取り囲んで、くちばしで水をはね上げたり、お尻の黄色い部分を見せつけるように反り上がったりと、独特なディスプレイを繰り広げます。



メスを取り囲むオスたち。



くちばしで水をはね上げます。

見事メスを獲得したオスは、2羽と一緒に北の繁殖地を目指します。コガモの北帰時期はほかのカモに比べて遅いので、4月中までは普通に見ることができます。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-02 >

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

過去ログ

あなたは現在、2014年Februaryの過去ログをしています。

February12日Wednesday: ふくらすずめ

カテゴリ: [General](#) 投稿者: [odaya](#)

スタッフが館内でガの仲間が落ちているのを見つけたので、拾って調べてみると、フクラスズメという種類であることがわかりました。スズメガではなくヤガの仲間だそうです。



後ろの翅の光沢がきれいです。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)
[次の月](#)
[今日の投稿](#)
[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)
[General](#)
[お知らせ](#)
[観察会](#)
[観察会下見](#)
[昆虫](#)
[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)
[google.co.jp](#)



腹面は長い毛におおわれていてモフモフしています。これが羽を膨らませた小鳥のようであることが、名前の由来のようです。

こちらが本当のふくらすずめ。太っているわけではなく、寒い時期には保温のために全身の羽毛を膨らませているのです。



February 9日Sunday: 鳥の博物館周辺雪景色

カテゴリ: General

投稿者: saito



関東平野では20年ぶりの大雪で、鳥の博物館もすっかり雪景色となりました。こんな時、手賀沼周辺の鳥たちは、どんなふうにくらしているのか、博物館周辺を回ってみました。



メジロは、雪のかぶったサザンカの樹の中で、花の蜜を吸っていました。近づくくと、ヒヨドリも顔を出しました。



雪が積もらず地表の見えるクスノキの樹の下には、ドバトやハクセキレイ、ツグミ、ムクドリが群れて、餌をついばんでいました。



クスノキの果実らしきものをついばむツグミ。



田んぼの畦は、雪がいち早く解けて地表が露出し、ドバトやムクドリ、ツグミなどの格好の餌場になっていました。



雪が積もった田んぼでは、ハシボソガラスが、地表に顔を出したイネのひこばえの実をついばんでいました。



イネのひこばえの周りにはカラスの他に、小鳥のあしあとも多数残っていて、食べに来た事が分かります。



人に餌をもらうことに慣れたオナガガモの群れは、積雪のため自力で餌が採れず空腹だったのか、人が近づくと、一斉に寄ってきました。



雪の降った日の朝には、新雪の上に動物の足跡がよく残ります。ドバトの足跡と飛び立った時についた翼の印影がきれいに残っていました。



カラス（ハシボソガラス？）が、冬枯れの灌木のまわりを歩いた足跡もみつかりました。餌を探して歩き回ったのでしょう。

February 5日Wednesday: 春来たる？

カテゴリ: **General** 投稿者: **odaya**

暦の上では昨日2月4日が立春でしたが、急に寒くなりましたね。



今朝、手賀沼遊歩道沿いを歩いていると、アシのてっぺんにホオジロが止まってさえずっていました。まだ完璧な節回しではありませんが、「チチチッ」という地鳴きを交えて、短い「ピッピツツピ」というフレーズを何回か繰り返していました。

鳥の世界では、着々と春に向けた変化が進んでいるようです。

とりはく自然通信

我孫子市鳥の博物館

< 2014-01 >

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

過去ログ

あなたは現在、2014年Januaryの過去ログを見えています。

January29日Wednesday: 脚の黄色いセグロカモメ

カテゴリ: [General](#)

投稿者: [odaya](#)

博物館の手賀沼調査の結果を注意深く見ていただいている方は、11月から見慣れない鳥の名前がリストに加わっているのにお気づきかと思います。

「ニシセグロカモメ」ーこれはどんな鳥なのでしょう？



カッパの銅像の上で休息するニシセグロカモメ（2014年1月29日撮影）。脚は黄色く、背の色はセグロカモメ *Larus argentatus vegae* と同じくらい。

検索

検索

ナビゲーション

[前の月](#)

[次の月](#)

[今日の投稿](#)

[過去ログ](#)

カテゴリ

[全てのカテゴリ](#)

[General](#)

[お知らせ](#)

[観察会](#)

[観察会下見](#)

[昆虫](#)

[植物](#)

ログイン

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

リンク

[我孫子市鳥の博物館](#)

google.co.jp



ニシセグロカモメ（2014年1月5日撮影）。翼の一番外側の羽はまだ抜けかわっていない。セグロカモメではより早い時期に抜ける個体が多い。先端に黒い部分がある風切羽の枚数は6枚（先端から2枚目は脱落して見えない）。

日本に冬渡来するセグロカモメの中に、脚の黄色いものがあることは昔から知られていました。これがどの種や亜種に該当するのかについては、実はまだ科学的な答えが得られていません。

手賀沼にいる上の写真の個体は、脚の色が淡い黄色、背の色がセグロカモメと同じくらいで、翼の先端にある黒い羽の枚数は6枚です。特徴的なのは、翼の先端の羽毛（初列風切といいます）の抜けかわる時期が、一般的なセグロカモメよりも遅いことです。

これらの特徴からは、この個体はホイグリンカモメ *Larus heuglini* の亜種タイミルセグロカモメ *Larus heuglini taimyrensis* に該当します。

しかし、日本鳥類目録改訂7版では、ホイグリンカモメはニシセグロカモメの1亜種とされており、亜種タイミルセグロカモメは有効ではない分類群であるとする説を採用しているようです。

そこで、鳥の博物館では手賀沼で観察されている脚の黄色いセグロカモメについて、「ニシセグロカモメ」という呼び名で記録することにしました。将来、日本鳥類目録においても採用される説が変わる可能性があり、まだまだこの「脚の黄色いセグロカモメ」に関する議論は続きそうです。

January28日Tuesday: アシ原に潜む

カテゴリ: General 投稿者: odaya

前回の更新から間が空いてしまいましたが、手賀沼周辺で越冬している鳥を紹介します。



アシ原の中で小さな鳥が動いています。この背中、誰でしょう？

» [続きを読む](#)